



測定値が維持管理計画値を超過した理由(※)

※① 豊島清掃工場 2号炉 令和2年7月31日(金) 8:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、一時間平均値で116ppmを記録した。

原因は、給じん機の警報対応のため、機器を停止して現場作業を行った後、機器の運転操作が遅くなったことから、ごみの供給が遅れたことによる。

その後は、正常な燃焼状態に回復し、復旧した。

※② 世田谷清掃工場 2号炉 令和2年7月25日(土) 6:00

排ガス中の一酸化炭素濃度が、一時間平均値で125 ppmを記録した。

原因は、ごみ搬送装置内のごみレベルセンサにごみが付着し誤検知したことでごみ供給が一時的に停止し、手動でごみ供給を再開した際に供給速度が速すぎたため過燃焼になったことによる。

ごみ供給を安定させるとともに、バーナを着火して燃焼改善を図った。

その結果、正常な燃焼状態に回復した。

令和2年度 維持管理状況(7月1日～31日)＜工場設置計器の測定結果＞より